

特殊詐欺の発生状況（平成30年4月末） ～市の職員や銀行員をかたる還付金等詐欺が発生！～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（平成30年4月末現在）

- 被害認知件数は**17件**（前年同月比－16件）
- 被害額は**約3,000万円**（前年同月比－約6,121万円）
- 架空請求詐欺被害が最多（17件中12件）

2 平成30年4月中の認知状況

- 被害認知件数は**3件**（前年同月比－6件）
- 被害額は**約99万円**（前年同月比－約493万円）
- 手口別では、
 - ・ 融資保証金詐欺 2件
 - ・ 還付金等詐欺 1件

3 県内で発生した特殊詐欺事例の紹介（4月中）

○ 還付金等詐欺の発生

高齢者宅に、市の職員や銀行員を名乗る男から、

- ・ 医療費の払戻金があり、今日中に手続きをしなければならない
- ・ キャッシュカードを持ってATMに行ってください

などという電話があり、無人のATMに誘導されて、携帯電話で指示されるままATMの操作をさせられて預金をだまし取られる還付金等詐欺の被害が発生しています。

今後も県内で同様の電話が架かってくる可能性がありますので注意してください。

「電話」で「お金の話」が出たら必ず詐欺を疑い、すぐに家族や警察に相談しましょう。

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	平成30年4月末		
	男性	女性	計
～ 19	－	－	－
20 ～ 29	－	3	3
30 ～ 39	3	－	3
40 ～ 49	－	1	1
50 ～ 59	－	2	2
60 ～ 64	1	1	2
65 ～ 69	1	1	2
70 ～ 79	－	2	2
80 ～ 89	－	2	2
90 ～	－	－	－
合計	5	12	17
内65歳以上の高齢者	1	5	6

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	平成30年4月末 件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	3
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	－
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	5
電子マネー型	3
キャッシュカード受取型	－
収納代行利用型（コンビニ決済）	6
合計	17